

家族みんなで家読!



北海道教育委員会 平成29年3月

読書は、多くの語彙や多様な表現に触れることで、言葉を学び、豊かな感性や表現力、創造力を育成するなど、子どもの健やかな成長に不可欠なものであり、積極的にそのための環境を整備することが大切です。

乳幼児期

(0歳～6歳)

「本に出会う」

大人と絵本を見たり聞いたりすることで、同じ世界を共有する楽しさや心を通わせる一体感を味わうことができます。



小学生期

(6歳～12歳)

「本に親しむ」

低学年では、読み聞かせなどにより、本に親しみ、読書を楽しむ時間をつくるのが大切です。

高学年になると、幅広いジャンルの本に目を向け、目的に合った本を読もうとするようになります。



中学生期

(12歳～15歳)

「本から学ぶ」

自己を見つめ、自己の向上を図るなど、読書が、自己の在り方を考えていく上での大きな力となります。



高校生期

(15歳～18歳)

「本と生きる」

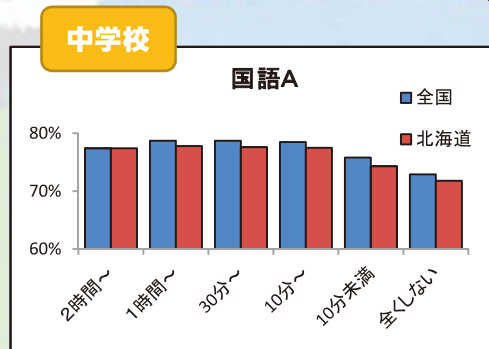
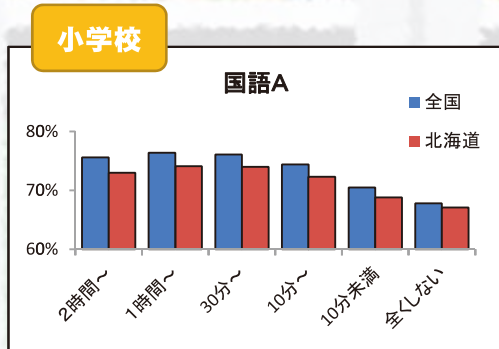
読書が、人間としての在り方生き方を考えることにつながり、主体的な進路の選択と決定に影響を与えます。



「1日10分以上」の読書習慣を身に付けましょう

子どもの読書習慣は、日常の生活を通して形成されます。読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるよう、積極的に取り組みましょう。

「学校の授業時間以外に、普段、1日あたり10分以上読書をする」子どもの方が、小中学校とも、平均正答率が高い傾向にあります。



「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」平成28年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙より

道教委の取組

道教委では、子どもの望ましい生活習慣の定着に向けて、「生活リズムチェックシート」を作成しています。

「読書習慣編」では、毎日の読書時間や読んだ本の題名等を記録することができます。

「生活リズムチェックシート」のURL：(北海道教育庁生涯学習課)
<http://www.dokyoj. pref. hokkaido. lg. jp/hk/sgg/undou/tyekkusi-to. htm>



北海道教育委員会は、「どさんこアウトメディアプロジェクト」(北海道子どもの生活習慣づくり実行委員会)を推進しています。

- 全ての子どもたちに、ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着を
- 毎月第1、第3日曜日は「ノーゲームデー」～家族団らん、体験活動、読書活動に親しみましょう～



「北海道子ども読書活動推進ホームページ」のURL：(北海道教育庁生涯学習課)
<http://www.dokyoj. pref. hokkaido. lg. jp/hk/sgg/move/dokusyo/dokusyoindex. htm>

